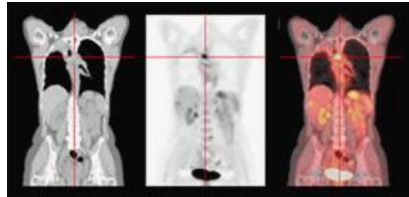


■■ FDG-PET検査をお受けになる患者さんへ ■■

1. FDG-PET検査について

1. 一般的に、腫瘍細胞などは正常細胞に比べ数倍も多くブドウ糖を取り込む性質があります。この性質を利用し、腫瘍や臓器の状態・代謝を診るのがFDG-PET検査です。
2. 検査薬としてブドウ糖に似た放射性の薬 (^{18}F -FDG) を注射し、PET-CT装置で撮影します。PETとCTを組み合わせた装置であるため、病気の場所や形を精度よく検査することができます。



2. 検査の注意点

●食事

検査予定時刻の6時間前から絶食になります。(チョコ・あめ・ガムなども不可)

飲み物は、水またはお茶を飲むようにお願いします。(砂糖・糖質を含んだものは不可)

食品および糖分の入った飲料水を摂取すると、検査薬の効果が無くなり検査ができなくなる場合があります。血糖値 200mg/dl 以上は検査出来ない場合があります。

●水の準備

糖分の入っていない水またはお茶を500mlほど検査当日にご持参ください。(水道水でも可)
検査薬注射後、体内から余分となった検査薬は尿中に排泄されます。その排泄をうながし、患者さん本人の被ばくの低減、きれいな画像を撮影するためです。ご協力をお願いいたします。

●内服薬

糖尿病薬、インシュリン等投薬中の方は、血糖のコントロールを主治医にご相談ください。
その他、現在服用している薬がある方も主治医にご相談ください。

●検査前の運動

過度の運動(テニス・野球・ランニング等)、筋トレ、重労働は前日からお控えください。
検査薬が筋肉などへ集まり易くなり検査の妨げになります。来院の際も自転車などの使用は控えてください。

●妊婦あるいは妊娠の可能性のある方

妊娠中またはその可能性のある方は、原則としてこの検査は出来ませんので、主治医にご相談ください。

●冬季は頸部など肌の露出をできるだけ避け、温かい格好でお越しください。

●薬の投与から撮影までは安静が必要となります。

鎮静や介助を要する方の検査はご遠慮いただく場合があります。

●同一月内にガリウムシンチを受けられた場合、保険適用になりません。

●アクセサリなど金属類は検査前に外していただきます。

●閉所恐怖症など狭いところが苦手な方は事前にお申し出ください。

●お会計は検査前に済ませていただきます。検査を終えられましたらそのままお帰りください。

3. 検査薬について

●検査薬は、時間と共に放射線の量が減っていくため、体重に合わせて検査時間を管理し、お一人ずつ時間に合わせて注文しています。

予約時間に間に合うよう、時間に余裕を持ってご来院ください。また、予約変更をご希望の場合は検査前日の正午までにご連絡ください。これ以降のキャンセルは薬代(約 50,000 円)をご負担頂きます。

4. FDG-PET検査終了後について

●検査終了後も、約24時間程度は微量の放射線が体内から放出されています。

周囲への被ばくを避けるためにも次の点に注意してください。

1. 同一日に他科の受診や検査は行わないようお願いします。
2. 検査後12時間は、なるべく人ごみなどへの外出は控え、特に乳幼児・妊婦さんへの緊密な接触は避けるようお願いします。
3. 授乳されている方は注射投与から24時間の授乳をお控えください。授乳される場合は24時間後に一度搾乳したものを捨ててからの授乳をお勧めします。

検査全体に要する時間は2時間ほどかかります。

5. 検査費用の概算

●保険適用の場合

自己負担額3割・・・約30,000円

自己負担額1割・・・約10,000円

●保険適用外(自費診療)の場合

約110,000円